

SSK 銀鈴増刊



ぎんれいだより

H 27 年秋号

編集：公益社団法人銀鈴会

東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

Tel : 03-3436-1820

1971年6月17日第3種郵便物認可

(毎月6回5の日・0の日発行)

SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより

NO.2 2015年9月17日発行

増刊通巻第4652号 定価50円

発行：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧 6-26-21

カラオケ音響メーカー

第一興商よりカラオケセット が寄贈されました

一昨年有楽町マリオンで挙行された「声帯を失った人による歌の大祭典」に於いてカラオケセットを提供し、後援してくださった株式会社第一興商（東京都品川区 代表取締役社長 林三郎様）が公益社団法人銀鈴会にカラオケセット一式を寄贈して下さることにになり、9月10日（木）、港区の東京都障害者福祉会館に設置されました。寄贈されたカラオケ機器、生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」は、可動式カラオケとなっており施設内をスムーズに移動可能でカラオケの予約はタッチパネルにより可能です。

歌唱が口腔機能の改善に加えストレス解消と気分・感情の改善につながる事が国際誌の論文にも掲載されています。一般社団法人日本音楽健康



協会（音建協）は「カラオケ」を利用した高齢者の健康づくりや地域コミュニティづくりに取り組んでいる第一興商が呼びかけて「うたと健康」で健康寿命の延伸に寄与することを目的に造られました。音建協が目指すのは自治体や地域の集会所や民間の保有施設などを利用して、いつでも、だれでも、好きな時に参加して「地域コミュニティの創出」や「外出機会の創出」です。「うたと健康」を協会理念とし、安全で円滑な運営を図るのが音楽健康指導士の役割だそうです。

銀鈴会は今までの発声練習はCDを使つての限られた歌曲での練習でありましたが、今回の寄贈により約4万曲の中から好きな歌を選べるようになりましたので、発声訓練がより楽しく、習得期間の短縮が期待されます。これを機会に病気の人や障害者分野における「健康カラオケ」の普及にお互いの賛助会を通じて協力をしてまいります。

みなさんこんにちは。

私が訓練する中で感じた事は、世の中にはたくさんの癌経験者がいる中で同じ種の癌経験者がこんなに集う場所があるのは、銀鈴会を含む全国の喉頭摘出者が訓練する会以外にはないだろうなと思いました。同じような経験をしたものが第二の人生の為に訓練をする場所ではありますが、先輩からいろんな事を教わったり、同じ頃に入会した人と会話してみたり…。

これってとても心強い場所だと思います。

私も第二の人生を心から楽しみたい、そう思っています。

つんく♂

パンフレットが出来ました！



銀鈴会への入会者は、このところ年々少なくなっています。これは、放射線等医療技術の進歩や抗がん剤等の進化により喉頭を温存しながら治療できるようになったことや、喫煙者数が減少していることなどが挙げられています。

それは喜ばしいことではあります。一方、都内近郊の有力病院で喉頭摘出手術を受けた方のうち銀鈴会へ入会された数は、必ずしも全てではありません。あの方々はどのような余生を送られているのでしょうか？もし銀鈴会の発声教室の存在をご存じないまま過ごされているとしたら、とても残念です。幸い日本郵便が主催する「年賀寄附金配分事業」からの助成を受けることが出来、このたび銀鈴会を紹介するカラー三つ折りパンフレットが出来上がりました。

平成26年度 第1回
ニューイヤースピーチ発表会
N Y S P

平成27年2月21日(土)、三田の東京都障害者福祉会館にて初心から上級、E.L、シャントクラスの会員さんの日ごろの練習成果を発表する新たな試みをとって「スピーチ発表会」を設けました。家族の皆さんと共に、各ステップで練習中の会員さんの声を聞いていただき、これから進むべき練習内容や上達過程を理解され、励みにして頂く良い機会となりました。

参加されたご家族の方からは「この教室で声を取り戻すために、皆さん一生懸命に努力なさっていることがとても良く伝わりました。あんなに上手になれるんだ！と、びっくりしました。」という感想が寄せられました。



平成26年度 第35回
家族座談会

「スピーチ発表会」に続き、「家族座談会」が開催されました。前もっていただいた30問の質問に、

銀鈴会特別常任顧問、東海大学医学部教授の福田宏之先生、および銀鈴会訓練士が回答しました。

T・Nさん(79歳) 皮膚移植

Q 咽頭がん手術後、肺がんが見つかり、放射線治療をして完治しましたが、肺気腫があると聞われました。現在まで何ごともなく過ぎておりますが、痰を切る時かなり力を入れます。肺気腫にさしつかえないでしょうか。

A 喉頭をとって、廓清してその後すぐ肺がんが見つかったのですね。これは多分腺がんで喉頭がんとはちよつと違うタイプの、つまり二重がんだと思いますけれども、放射線で治療したところ肺気腫が起きてしまった。Nさんの悩みは肺気腫がある、それで痰を出す時強く力を出さなければいけないのでそれが肺気腫に影響があるのではないかとという質問です。的確に申し上げますと、通常やや強めの喀出の仕方でも肺気腫そのものには影響はないと思います。ですからそれほど心配なさらないでもいいのではないかと思います。

平成27年度 第61回
公益社団法人銀鈴会定期総会

平成27年6月13日(土) 東京都新宿区南元町の東医健保会館に於いて、標記総会を開催いたしました。

議決権を持つ会員数1,005名、本日出席者数129名、委任状出席者数548名、合計677名で67.4%、定款第18条に基づく総会の成立が宣言され、坂上副会長の開会の辞で始まりました。松山会長の挨拶に続いて、ご来賓の厚生労働省の藤井康弘様(代読 品川文男様)、東京都の高原俊幸様、東京都身体障害者団体連合会の小西慶一様、全国社会福祉協議会の寺尾



徹様よりご祝辞をいただき、日喉連各団体長の紹介がありました。

大井卓雄氏と田島義則氏を議事録署名人に指名して次の案件について上程、審議を行い、提出議案はすべて原案通り承認可決されました。

平成27年度 第61回
声の祭典

平成27年6月13日(土) 定期総会に続いて「声の祭典」が開催されました。

福田審査委員長他、審査委員8名が紹介され、食道発声18名とE.L発声5名の出場者がスピーチコンテストを競いました。

食道発声最優秀賞は正願地憲明氏(声友クラブ)、E.L発声優秀賞は望月隆氏でした。正願地氏はスピーチコンテストの出場は5度目、声の祭典は3度目の挑戦でした。

審査の点数集計を待つ合間には、アトラクションとして声友クラブ、ずずらんの会によるコーラスが「声の祭典」を盛り上げました。

福田先生からは、「皆さん、本当にご苦労さまです。また優秀な成績を上げられた方、本当におめでとうございませす。でも入賞を逃してしまっても、一生懸命努力なされてこのコンクールを全うされ、参加していただいた方々、本当にご苦労さまです。私ごときが講評するなどというのはまことにおこがましいのですが、講評をするというよりも胸が熱くなるような気持ちで聞かせていただきました。」という講評をいただきました。

第18回
音声・嚙下・呼吸の談話会

平成 27 年 9 月 17 日（木）東京都中央区八重洲のベルサール八重洲に於いて松山会長が「無喉頭・気管孔呼吸者の音声再獲得とケアの実際」というタイトルで講演しました。

この集いは銀鈴会特別常任顧問の福田先生が顧問をされていらつしやる東京都東ブロック耳鼻咽喉科医学会の先生方 70 名が参加されました。

銀鈴会の女性コースも食道発声で「♪歩こう ♪明日があるさ」を歌いました。



厚生労働省要望書

(日喉連)

平成 27 年 6 月 25 日、塩崎恭久厚生労働大臣宛に「喉頭摘出による音声機能障害者に対する発声訓練支援に関する要望」を提出しました。

発声訓練士は無報酬のボランティア活動です。喉摘者団体は訓練士の養成、訓練の教材費、交通費、事務費等の負担に対し自治体からの僅かな補助金と会費収入で運営されてきました。しかし年々運営が厳しくなっており、多くの喉摘者団体は経済的に今後の運営が危惧される事態になっています。

日喉連団体に依存している代用音声習得への活動に対して財政的援助の拡大が急務です。

左記項目について要望し今後の施策に反映し、必要な予算措置を講じていただくようお願いしました。

要望事項（一部抜粋）

- (1) 発声教室運営への補助金の拡大
交通費、研修費、印刷出版費など。
- (2) 発声訓練に通う喉摘者への支援
交通費・離島宿泊費、付き添い介助費用、教材・資料費など。
- (3) 日喉連認定発声訓練士の公的資格の認可

発声訓練士教材配布

(日喉連)

発声訓練士の養成は、代用音声習得者を対象として、指導技術や知識の向上を図り指導者としての自覚と責任を明確化させ、指導に当たる人造り事業です。従来の各団体独自の指導者養成方法に加え全国共通の基準で各種発声法に必要な知識と指導内容を研修カリキュラムとして整備すると同時に発声教材として、各種発声法のマニュアルを正力厚生会様からの助成を受けて準備する事が出来ました。

全国の無喉頭者が何処の喉摘会に入会しても、最新の指導方法で指導を受けて、早期の社会復帰が出来る事を願っています。

「銀鈴会 60 年史」発行のお知らせ

平成 27 年 9 月 23 日発行
B5 判 180 ページ
口絵カラー 12 ページ
装丁・表紙布貼り・箱入り
定価 1,500 円
ご注文は下記銀鈴会事務局へ

賛助会員募集のお願い

銀鈴会は、コミュニケーションに必要な代用音声の習得をとおして、社会復帰、術後の管理ケアおよび会員相互の親睦をはかっています。当会の事業目的に賛同し、活動を支援してくださる賛助会員を募集しています。

多くの皆様からのご支援をもとにさらに充実した活動を続けてまいりたいと存じます。

お力添えくださいますようお願い申し上げます。

年会費

法人賛助会員 一口五千元 六口以上
個人賛助会員 一口五千元 一口以上
期間 四月～翌年の三月まで

賛助会員・「60 年史」

申し込み及び問い合わせ先

公益社団法人銀鈴会
事務局 高梨泰弘
〒105-0004
東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901
TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497
E-mail : office@ginreikai.or.jp

ご支援有り難うございました

平成 27 年 9 月現在 ご寄付及び賛助会費をご送付いただいた皆さま (五十音順 敬称略)

アシダ音響株式会社、アトスメディカル名優株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、株式会社ABC
店舗、有限会社エコープロセス、SMB C日興証券株式会社、株式会社大染、株式会社岡村製作所、株式会社オフ
セットクリーン、鹿島建設株式会社、神奈川銀鈴会、京浜印刷株式会社、埼玉銀鈴会、三協立山株式会社、医療法
人社団順康会、株式会社鈴木保有社、住友林業株式会社、関野運輸株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲
甚句協会、綜研化学株式会社、株式会社ソリユーションハウジング、第一医科株式会社、株式会社第一興商、株式
会社大和証券グループ本社、株式会社電制、太成倉庫株式会社、東京医科大学看護専門学校、東京ガレーヂ株式会
社、東京都障害者福祉会館、東京都身体障害者団体連合会、南武建設株式会社、新潟県美鈴会、ニチハ株式会社、
日本ガレーヂサービス株式会社、有限会社野沢正光建築工房、株式会社ハーフ・センチュリー・モア、医療法人社
団白翔会、橋本総業株式会社、原田産業株式会社、公益財団法人阪喉会、株式会社福祉施設共済会、株式会社プロ
ティア・ジャパン、株式会社三井住友銀行、三井住友カード株式会社、株式会社明電舎、株式会社名優、山崎製パ
ン株式会社、医療法人社団良宗会、株式会社レーサム、株式会社ロッテ

秋元一郎、秋元 洋一、朝田禮一、旭潔、足立健之助、安藤純一、飯島敏禎、池田美代、石川眞佐子、石田焜、
石原文雄、市田治弥、井手麻喜子、井上貴之、井上洋一郎、上田貞行、梅崎伸、江口仁、榎本節子、江原澄、江
原里美、江原節子、大井卓雄、大篠文也、大貫栄二、大貫美智子、大野勇三、大浜保道、岡島正恒、岡田悠紀子、
岡戸富美子、奥原修、小佐野郷子、笠木桃子、梶山和秀、加藤紘一、カトレア会、鎌田優子、川中伸啓、川鍋千
枝子、神立喜三郎、菊池孝幸、木下勝男、窪井純子、久保力男、熊川喜代司、腰山道子、小林宏、齋藤隆、左海
省司、坂上知子、坂上典子、相樂多恵子、佐藤康代、山後弘子、山後祐介、鹿内健悦、宍倉康雄、篠清市、篠田
乃武子、篠奈津子、篠美登里、島田厚子、清水和夫、清水勢津夫、朱宮裕子、正願地孝子、初心Aチーム、白川
充彦、杉山喬、鈴木栄子、鈴木紀男、鈴木正子、鈴木三智子、鈴木光子、隅谷貞子、隅谷政紀、声友クラブ、関
野登志夫、相馬麻衣子、高橋健二、高橋剛、高橋連、高橋久義、高山幸明、滝澤知誠、滝澤知峰、R.Takizawa、
T.Takizawa、竹内康子、龍村道子、田村さた、田村久子、田村元行、辻文子、栃木謙治、栃木美美子、富山美佳、
永井一男、永井芳子、中西昭雄、中西かよ子、中野晴充、中村明美、名越一郎、新美勝正、新美典子、西村恵三
郎、長谷川峰子、馬場金五郎、馬場眞人、半田建二、蛭田澄美枝、福山嘉照、福原秋夫、藤野由美子、藤原桂子、
淵本義山、発知五平、堀内武、増田正毅、松清平、松田幸雄、松山光志、松山寿美子、松山雅哉、松山雅則、三
澤武雄、三田佳子、峯村文雄、三野武彦、宮里眞用、宮本啓三、村上壮吉、村松繁雄、村本高史、名声会、八木
清文、矢代三江、安田祥子、安野智、山岸正央、山口春吉、山口平男、山崎浩子、山寺勉、山本勇、山室あい、
由紀さおり、横井俊三、吉田美保子、脇田誠照、渡邊正雄、渡邊操、和田敦子、和田栄子、A.K.、C.H.、K.S.、
M.K.、M.M.、M.N.、S.Y.、T.F.、Y.O. 匿名 2 名

多大なる御尽力
有り難うございます

◆人から人へと

新しい声の輪を

広げよう!◆

賛助会員制度をスタートさせ
て以来、多くの方々にご支援頂き
有難うございます。今回、中でも
積極的にご協力下さる銀鈴会会
員の中野晴充さんをご紹介させ
て頂きます。

港区在住・75歳の中野さんは、
その人望の厚さと行動力で、ご家
族やお知り合いにとどまらず、冒
頭の「人から人へと新しい声の輪
をひろげよう!」の掛け声で賛助
会員の輪を広げて下さっています。

更にその人脈の広さは、美声で
知られる有名姉妹歌手や大女優
まで賛助会員へとお誘い頂きま
した。会として望外の喜びです。
これからも自称「銀鈴会の宣伝
部長」として、賛助会の意義・必
要性を各方面へ広めて下さるそ
うです。

今後ともご協力をよろしくお
願い申し上げます。